

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年7月10日
【会社名】	株式会社スリー・ディー・マトリックス
【英訳名】	3-D Matrix,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 高村 健太郎
【本店の所在の場所】	東京都千代田区麹町三丁目2番4号
【電話番号】	03-3511-3440
【事務連絡者氏名】	取締役 新井 友行
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区麹町三丁目2番4号
【電話番号】	03-3511-3440
【事務連絡者氏名】	取締役 新井 友行
【届出の対象とした募集(売出)有価証券の種類】	株式
【届出の対象とした募集(売出)金額】	一般募集 2,281,619,000円 オーバーアロットメントによる売出し 353,999,000円
	(注)1 募集金額は、発行価額の総額であり、平成25年7月1日(月)現在の株式会社大阪証券取引所における当社普通株式の終値を基準として算出した見込額であります。 ただし、今回の募集の方法は、引受人が発行価額にて買取引受けを行い、当該発行価額と異なる価額(発行価格)で一般募集を行うため、一般募集における発行価格の総額は上記の金額とは異なります。
	2 売出金額は、売出価額の総額であり、平成25年7月1日(月)現在の株式会社大阪証券取引所における当社普通株式の終値を基準として算出した見込額であります。
【安定操作に関する事項】	1 今回の募集及び売出しに伴い、当社の発行する上場株式について、市場価格の動向に応じ必要があるときは、金融商品取引法施行令第20条第1項に規定する安定操作取引が行われる場合があります。 2 上記の場合に安定操作取引が行われる取引所金融商品市場を開設する金融商品取引所は、株式会社大阪証券取引所であります。
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成25年7月5日付をもって提出した有価証券届出書の記載事項のうち、「第一部 証券情報 第1 募集要項 4 新規発行による手取金の使途 (2) 手取金の使途」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、これに関連する事項を訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 証券情報

第1 募集要項

4 新規発行による手取金の使途

(2) 手取金の使途

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____ 罫で示してあります。

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

4【新規発行による手取金の使途】

(2)【手取金の使途】

(訂正前)

<前略>

なお、研究開発資金については、主に吸収性局所止血材（TDM - 621）の海外展開に向けての準備費用として米国及び欧州での臨床試験、人件費等に充当する予定です。なお、用途別の具体的な内訳は以下のとおりであります。

(単位：千円)

使途	内容	金額	支出予定時期
各種試験費用	各開発パイプライン（注）の治験開始までの前臨床試験費用	40,000	平成25年10月～平成29年4月
臨床関係費用	各開発パイプライン（注）の臨床試験を実施するための医療機関治験施設への各種支払・申請費用	1,460,000	平成25年11月～平成29年4月
原材料費用	各開発パイプライン（注）における各試験に使用するペプチド製剤費用・治験に使用するペプチド製造費用等	160,000	平成25年10月～平成29年4月
研究開発人件費用	研究開発を実施するために要する人件費等	340,000	平成26年11月～平成27年4月
合計		2,000,000	

(注) 各開発パイプラインとは、外科領域として、日本国内の他に米国、欧州及びアジア地域へ事業展開を進めている吸収性局所止血材（TDM - 621）並びに日本国内で事業展開を進めている粘膜隆起材（TDM - 641）であります。

(訂正後)

<前略>

なお、研究開発資金については、主に吸収性局所止血材（TDM - 621）の海外展開に向けての準備費用として米国及び欧州での臨床試験、人件費等に充当する予定です。なお、用途別の具体的な内訳は以下のとおりであります。

(単位：千円)

使途	内容	金額	支出予定時期
各種試験費用	各開発パイプライン（注）の治験開始までの前臨床試験費用	40,000	平成25年10月～平成29年4月
臨床関係費用	各開発パイプライン（注）の臨床試験を実施するための医療機関治験施設への各種支払・申請費用	1,460,000	平成25年11月～平成29年4月
原材料費用	各開発パイプライン（注）における各試験に使用するペプチド製剤費用・治験に使用するペプチド製造費用等	160,000	平成25年10月～平成29年4月
研究開発人件費用	研究開発を実施するために要する人件費等	340,000	平成25年11月～平成27年4月
合計		2,000,000	

(注) 各開発パイプラインとは、外科領域として、日本国内の他に米国、欧州及びアジア地域へ事業展開を進めている吸収性局所止血材（TDM - 621）並びに日本国内で事業展開を進めている粘膜隆起材（TDM - 641）であります。